

2026年10月8日

東海旅客鉄道株式会社

中央新幹線第一首都圏トンネル新設（北品川工区）工事共同企業体

## 中央新幹線第一首都圏トンネル新設（北品川工区）における シールドマシン一部設備の変状について

中央新幹線第一首都圏トンネル新設（北品川工区）工事において、7月29日に掘削工事を行うシールドマシンの内部から通常と異なる音を確認したため、掘進を停止し、マシン設備の点検を実施している旨、JR東海のホームページ等で公表していましたが、点検・調査の結果、一部設備に変状が認められたのでお知らせします。

なお、掘進停止中もチャンバー\*内の泥土圧をリアルタイムで管理しているほか、地表面変位計測の結果、地表など周辺環境に影響はないことを確認しており、今後も引き続き、これらの対応を行い、周辺環境への影響を確認してまいります。

※チャンバー：削った土を取り込む、カッターヘッド（地山を掘削する設備）と隔壁との間の空間

### 1. 発生日

2026年7月29日（水）

### 2. マシン位置

東京都品川区西品川1丁目付近（北品川非常口から名古屋方面に約734m進んだ位置）

### 3. 施工会社

中央新幹線第一首都圏トンネル新設（北品川工区）工事共同企業体  
（構成員 株式会社熊谷組、大豊建設株式会社、徳倉建設株式会社）

### 4. 点検・調査の状況 ※別紙参照

- ・通常と異なる音を確認した直後からシールドマシン駆動部の点検・調査を開始し、8月10日からは、カッターモーター（カッターヘッドを回転させるための動力となる設備）を取り外し、駆動部の内部について目視で確認したほか、ファイバースコープを用いた点検を実施しました。
- ・点検・調査の結果、カッターモーターに接続しているピニオンギヤ（モーターの動力を大ギヤに伝達するギヤ）の1箇所と、点検・調査を実施した箇所のベアリング（大ギヤが回転する際の摩擦を低減し、回転を滑らかにする装置）の複数箇所で、変状が確認されました。

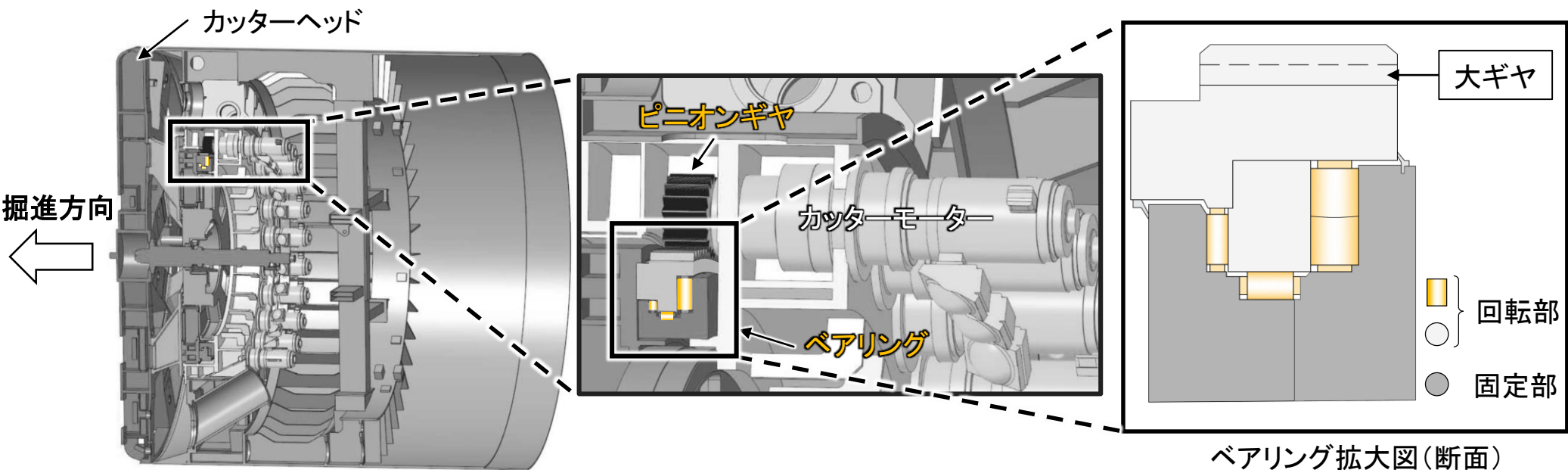
### 5. 今後について

- ・これまでの点検・調査の状況を踏まえ、今後、シールドマシン内部に開口部を設け、ベアリング等を取り外し、詳細な点検・調査を進めてまいります。
- ・点検・調査を含めて掘進再開には一定の期間を要すると見込んでいます。その進捗や掘進の再開につきましては、改めてお知らせします。

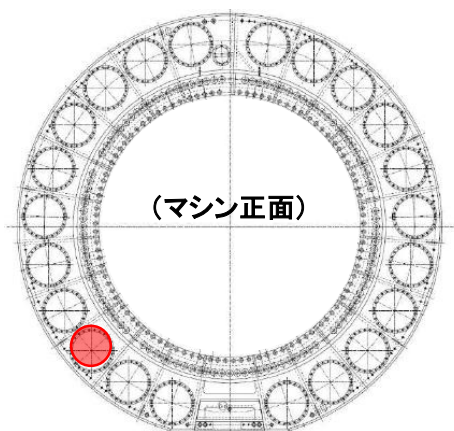
### 〈参考〉シールドマシンの位置



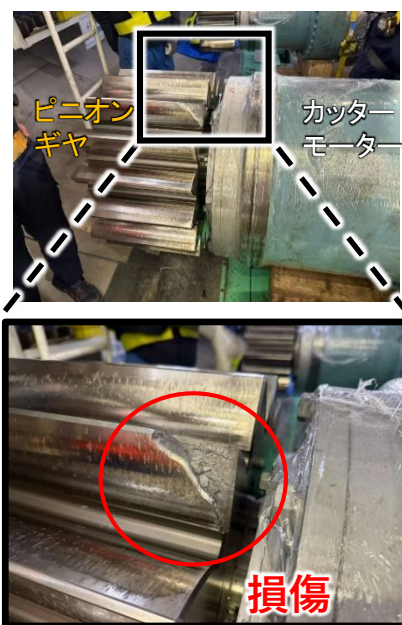
## ○シールドマシン設備（駆動部）の概要



## ○ピニオンギヤの変状

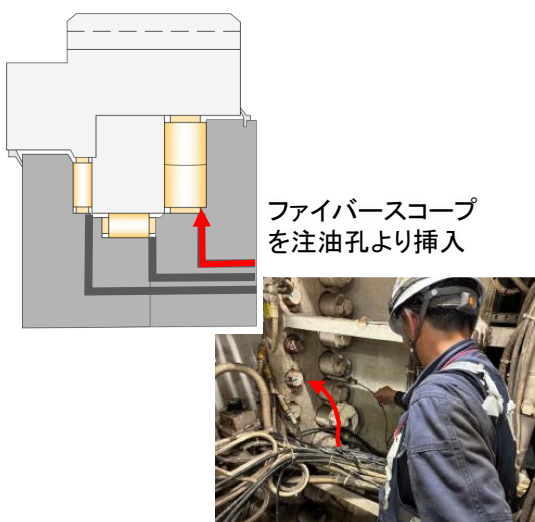


● 変状が確認された  
ピニオンギヤの位置



確認したピニオンギヤ状況

## ○ベアリングの変状



ファイバースコープによる点検



確認したベアリング状況